

平成27年度第1回青森市子ども会議開催概要

- 1 日時 平成27年4月25日（土） 10時～12時
- 2 場所 青森市福祉増進センター（しあわせプラザ）3階 大会議室
- 3 出席者 平成27年度青森市子ども会議委員21名（欠席者7名）
平成27年度青森市子どもサポーター4名（欠席者2名）
市長、事務局9名
- 4 次第
 - 1 開会
 - 2 市長あいさつ
 - 3 子ども会議委員自己紹介
 - 4 子どもサポーター自己紹介
 - 5 事務局職員紹介
 - 6 アイスブレイクタイム
 - 7 今年度の活動内容説明
 - 8 閉会

5 会議概要

平成27年度の子どもの会議がいよいよ始まりました。

今年度の子どもの会議には、小学生2名、中学生14名、高校生12名の合計28名の児童生徒が子どもの会議委員として参加してくれました。

また、子どもの会議委員の活動をサポートするため、6名の大学生や社会人の皆さんに、子どもサポーターとして御協力いただくことになりました。

今年度の子どもの会議では、ねぶた祭り参加による「青森市子どもの権利条例」の普及啓発活動や、自分たちの身の回りの興味のあることについてテーマを決め、調べたり話し合いをしたうえで、こうしたほうが良い、このようにしてほしいという、子ども視点での意見を表明するなどの活動を行う予定です。

なお、今年度の子どもの会議の活動テーマは、今後、子どもたちで話し合いをしながら決めていくこととしています。

第1回会議は、子どもたちの緊張をほぐし、親睦をより深めてもらうため、市長を含め子どもの会議委員や子どもサポーター、事務局全員の座席を円形に配置しました。

会議はまず、市長のあいさつから始まりました。

市長あいさつ

おはようございます。今年も子どもの会議開催のシーズンになりました。一年間よろしくお祈りします。花見に行きましたか。桜が散らないうちにどうぞ。年々この時期はまだ桜が咲いていなくて、今年はまだもういつ散るのかなというふうになっていますが、今年一年間よろしくお祈りいたします。

継続の方もいらっしゃいますし、初めての方もいらっしゃいます。私もこの仕切りは初めてです。今までは机を並べて



堅苦しい感じでした。今日は丸い感じで、柔らかい感じでスタートいたしました。いろいろとスケジュールやイベントもあるようですし、学習会もあるようです。それぞれ、皆さんの子どもという立場、視点から、青森市のまち、あるいは子どもたちの暮らし、子どもたちのこれからというようにいろいろな分野で、あるいは視点で活動していただければありがたいと思います。

子どもの権利条例、青森県では青森市が初めてこの条例を作りました。青森県内のナンバーワンといいますか、トップランナーが皆さんの活動だと思ってください。去年は、青森市内のほかの子どもたち、ひいては全国のほかの子どもたちとも交流がありました。今年も、全国のほかの地域の皆さんと同じような子どもたち同士の交流にも繋げていければいいなと思っております。

なによりも、皆さんが健康で、元気で、楽しくこの子ども会議を進めていただければありがたいと思います。一年間よろしくお願いたします。



続いて、今回、子ども会議委員として活動していただく子どもたちと子どもサポーターから、自己紹介と今年度の会議への抱負などを自由に話していただきました。

子ども会議委員からの抱負など

- ・いろいろな年代の人たちと触れ合うことができるすごく楽しい活動だと思うので、みんなで仲良くしていきたい。
- ・今年も他県の人たちと交流することを楽しみにしている。
- ・元気な青森市を作れるように皆さんと協力して頑張っていきたい。
- ・ねぶた祭りへの参加をとっても楽しみにしている。
- ・この子ども会議を通して皆さんと仲良くなりたい。
- ・歴史が好きなので、青森の歴史を他の人にも知ってもらえたらいいなと思う。
- ・今年は健康についての活動をしてみたい。また、地産地消に繋がるような活動をしたい。



子どもサポーターからの抱負など

- ・緊張しないでやってもらえたらいいなと思っている。楽しくみんなで好きなことを話したり、やりたいことをやって、楽しくイベントを成功できればいいと思う。
- ・教員を目指している身として、このようにたくさん子どもたちや青森市のことや子どもの権利について触れる機会はなかなかなく、大変貴重な機会だと思うので頑張りたい。
- ・子ども会議委員から健康に関するお話があったが、身にしみる思いで聴いていた。一緒に健康を考えたい。



このあと、子ども会議の活動を運営していく市の事務局職員の紹介をしました。当初は部長から紹介する予定でしたが、子どもたちと同じく、一人ひとり自己紹介をしました。

事務局の自己紹介が終わり、市長は次の仕事に向かうため、「1年間よろしくお願いたします。」とあいさつをして、会場を後にしました。

子ども会議の活動に際し、事務局は、「**子ども会議の主役は、ここにいる皆さん。みんながやりたいことを楽しくやろう！**」をモットーに、今後の活動を運営していきます。

10分程度休憩をはさみ、第1回会議の後半は、子どもたちの緊張をほぐし、交流を深めてもらうために、事務局、見学に来てくださった児童福祉専門分科会の委員の方々を含めた全員でアイスブレイクを行いました。

アイスブレイクの司会進行は、子どもサポーターの皆さんにお願いしました。

アイスブレイクでは、まず、声を出さずにジェスチャーを用いて誕生日順に並ぶ「ラインナップ」というゲームや、条件に合う人が席を移動しやす取りゲームをする「フルーツバスケット」を行いました。フルーツバスケットでは、席に座ることができなかった人があらためて自己紹介をしました。

次に、子どもたちだけでグループを作り、となりの席の人を紹介する「他己紹介」（たこしょうかい）をしました。子どもたちは、子どもサポーターの流暢な司会進行のもと、終始にぎやかな雰囲気でお互いを紹介を楽しんでいました。



最後に、これからの子ども会議の活動概要などについて事務局から説明をしました。今年もねぶた祭りへ参加することを確認し、ねぶた祭り参加時に着用するTシャツのデザイン案を考えていただく方を決め、第1回子ども会議は終了しました。



次回の第2回会議では、「自分たちの身の回りの興味のあること」についての活動案を子ども会議委員に提案していただき、皆さんで話し合いをしたうえで、今年度の子ども会議の活動テーマを決める予定です。